

## 地域活性化

## 3Dプリンタを用いた特産品の試作

地域を活性化させる一つの手段として、地域の特産品や商品を開発・販売することで、地域のブランドイメージを高めることが考えられます。奈良県内には多くの文化遺産があり、それを活用した商品を開発し、地域活性化を目指します。例えば、基礎演習クラス内で、奈良市内の古墳から出土した非常に珍しい盾形銅鏡をモチーフに、CGで盾形銅鏡を作り、3Dプリンタを使って出力した後、シリコン型を作り、型にチョコレートを流して盾形銅鏡チョコレートを作りました。



### 富雄丸山古墳から出土した盾形銅鏡と蛇行剣

奈良市の富雄丸山古墳(4世紀後半)は大型の円墳で、この発掘調査に奈良大学の学生も参加しています。この円墳から国宝級と言われる非常に珍しい意匠をした盾形銅鏡と大型の蛇行剣が出土しました。

### 盾形銅鏡をモチーフにCG制作

公開されている盾形銅鏡の意匠をもとに、学生たちが、盾形銅鏡の特徴を捉えたCGを制作しました。



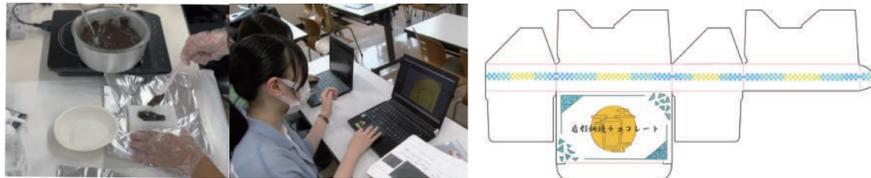
### 3Dプリンタ出力・食用シリコンで型取り

3Dプリンタを使って、制作した盾形銅鏡を出力し、食用シリコンを使って型取りをしました。



### チョコレートの流し込みとパッケージ制作

シリコン型にチョコレートを流し込んで冷やすと、盾形銅鏡チョコレートの完成です。このチョコレートを入れるためのパッケージも制作しました。



### 特産品の試作とPR動画の制作

制作したパッケージに盾形銅鏡チョコレートをいれて特産品を試作しました。また、制作過程を映像で記録して、PR動画も制作しました。



## 学生の活動紹介

## 学生によるオレンジリボン運動

1年生必修の基礎演習クラス内で取り組んだ「奈良大学総合社会学科オレンジリボンプロジェクト」が、認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワークにおいて、日本全国で70校が取り組んでいるオレンジリボン運動のうち、最終4校に選ばれ、表彰されました。『大学生として「児童虐待予防」に取り組んだことだけでなく、自分たちの専門性(社会学)を活かしたアンケート調査をした独自性』が高く評価されました。



### ■ アンケートの実施(啓発活動)

- ・近年の事例をアンケートに組み込む。
- ・回答がしやすいWebアンケートを作成。
- ・手作りのオレンジリボンと共に配布。
- ・WebアンケートのURLをQRコード形式にしてアクセスを簡易化。

### ■ ポスター作成

- ・文字数をできるだけ少なくする。
- ・シンプルなオレンジ色を強調。
- ・アンケートのQRコードを提示。
- ・学内の人通りの多い場所への掲示。

オレンジリボン運動とは？  
子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。

### オレンジリボン認知度アンケートの結果

15歳	0%
18歳	53%
19歳	40%
20歳	36%
21歳	29%
22歳	38%
23~29歳	44%
30~39歳	0%
40~49歳	0%
50~59歳	25%
60~69歳	100%
70歳以上	0%

回答割合  
女性 49% 男性 31%

#### どこで知ったか？

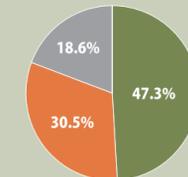
- 18歳: 授業・ニュース・祭りでのイベント
- 19歳: 授業・ニュース・SNS・広告・祭りでのブース・講演・野球のイベント・YouTube・友人から・議員さんが身に着けていた
- 20歳: 授業・ニュース・市役所等ポスター・サークル活動・弁論大会 母親、教員が身に着けていた
- 21歳: 授業・ニュース・SNS・テレビ・ボランティア活動・オレンジリボンをもらった・青垣祭実行委員会が身に着けていた
- 22歳: ネット・テレビ・広告・友達から・ボランティア
- 23歳: CM・電車の広告・ポスター・アルバイト先で身に着けた
- 30歳: 子供の影響
- 50歳: 車関連(ステッカー等)

#### ポイント 男女で認知度が異なった。

- ・他で活動を見たことはある人は19.7%
- ・21、20、19、18歳の順で認知度が増加傾向にある。
- ・誰かが身に着けていることで知っている人が多数見受けられた。  
→身に着けることで認知度が促進されるのでは？

### 推進していくべき活動

- 虐待の早期発見・早期対応のため、児童相談所や 関係機関の体制や連携の強化
- 虐待を受けた子供の保護や支援のため、支援の充実や里親委託の推進を図り、親への再発防止の支援
- 虐待発生予防の為、家庭への訪問事業や、地域子育て支援拠点の整備



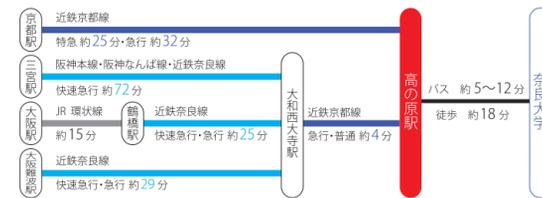
## キャリアアップ

総合社会学科でサポートしている資格は以下のものです。

- 社会調査士
- リテールマーケティング(販売士)1・2・3級
- 知的財産管理技能士(知財検定)3級
- ファイナンシャルプランニング(FP)技能検定3級
- 高等学校教員免許(公民)/中学校教員免許(社会科)
- 学校図書館司書教諭
- 司書

### 奈良大学へのアクセスは…

#### ▶主要駅からのアクセス方法



### 公式ホームページもご覧ください

学科ニュース、オープンキャンパス、入試情報など最新情報をお知らせします。



奈良大学ホームページ



社会学部総合社会学科サイト



〒631-8502 奈良市山陵町1500 TEL.0742-41-9502 FAX.0742-44-7949(入学センター)  
【総合社会学科ホームページ】 <https://www.nara-u.ac.jp/faculty/social/>

「好き」を深める。「好き」が広がる。



CROSS OVER



# 総合社会学科

地域創生 / 経済経営 / 異文化理解

街のすべてが  
わたしたちのステージ



# 社会で役立つ総合力を身につける

総合社会学科は、社会問題について考えることができる「問題解決のプロ」を育成する学科です。総合的な視点を養うために、社会科学分野を多角的に学び、社会現象を分析し、解決策を提案する力を身につけます。また、社会体験実習を通じて、地域社会での問題解決力を育成します。卒業後は、公務員や流通業、社会福祉、通信・サービス業など、多様な職種に就くことができます。自分の力で社会に貢献することができるため、やりがいを感じられる仕事に就けます。



## 地域社会とのつながり 社会体験実習

社会体験実習は、2年生が受講する授業です。様々なところで働く企業や自治体、NPO法人などに行き、実際に働く様子を体験します。この実習では、学生たちは2つのことを目指します。1つ目は、1年生の時に学んだことを社会で役立てること。2つ目は、実習先で学んだことを、今後学ぶ大学の授業で活かせるようにすることです。

### 総合社会学科の「社会連携」とは？

「大学での勉強は、社会に出てから何の役にも立たない」という声を聞くことがありますが、総合社会学科ではそう考えていません。大学で学ぶことは、学生自身にとっても社会にとっても役に立つことであり、大学はその役割を果たすべきだと考えています。学生は大学で学んだことが社会でどのように役立つかを学び、社会が必要とされるスキルや知識を身につけることが求められます。また、企業や自治体などは、大学における人材育成に参加し、社会のニーズを大学教育に反映させる機会にもなります。これが「社会連携」の基本的な考え方です。大学と社会がお互いに学び合うことで、より良い社会を築くことができます。社会体験実習では、実習先で学んだことを大学でさらに深め、大学で学んだことを実習先で実践することで、社会が必要とされる人材を育成しています。



### 地域のまちづくりに取り組む

『社会心理学を使って地域を活性化させたり、地域の魅力を伝えること(地域ブランディング)』を学び、実際に活動しながら、地域のまちづくりに取り組んでいます。



奈良県宇陀市の地域イベントの準備



ウクライナ大学卒業生との交流

### ウクライナと日本の交流

奈良市の観光戦略室との連携で、ウクライナから奈良市に避難して来ているウクライナ大学卒業生と交流しており、双方の学生が発表し、日本とウクライナの文化について学び、理解を深めました。

### ■ 地域活動に参加

奈良県大和郡山市にある「郡山八幡神社」で開催されたお祭りで「子ども屋台」を運営する活動を行いました。たくさんの子供たちと接することで、学生は「大人としてふるまうこと」を求められます。また「まちづくり」という点からも、地域の中で神社やお祭りが果たす役割についても実際の体験を通じて学びます。教室の中だけではわからない「気づき」がここにはあると思います。



郡山八幡神社の「子ども屋台」

### ■ 社会福祉活動に参加

社会福祉法人あゆみの会は、障がいのある人たちを支援し、作業活動を通して「共に働く場」を作り出す団体です。学生たちはあゆみの会のメンバーたちと一緒に内職作業や紙製品制作などの補助などを行いました。活動に参加した学生たちは、活動を通じて様々な感情の変化を経験し、自分と異なる人を理解することの大切さを学びました。



活動の様子



浜田氏(奈良クラブ)と加藤氏(バンビジャス奈良)

### スポーツを通じた地域振興

奈良県内で活動している2つのプロスポーツクラブ、バスケットボールのバンビジャス奈良とサッカーの奈良クラブは、勝利することを目指して戦っていますが、同時に主たる目的として共に地域貢献や地域活性化を目標に掲げています。奈良に本拠地をもつ2つのチームが相乗効果を発揮する可能性、大学に期待される役割について考えます。



経営学の授業風景

### 企業経営を考える

企業は、人材や設備、お金を使って、顧客に製品やサービスを提供して利益を上げ、地域社会に貢献するものです。このプロセスが「経営」であり、「経営学」では、6大経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報・時間・知的財産)をいかに効果的に配分・活用して企業を運営するかを考えます。

地域創生

## 総合社会学科 学びの3本柱

横断的に学ぶことで、  
地域社会が抱える課題や問題に  
取り組みます。

異文化理解

### インドの難民問題

インドに住むチベット難民がどのような問題を抱えているか、どのように未来を切り拓いているのかを、文化人類学的な視点から取り組んでいます。



チベット難民居住地の様子

### ベンチャー企業から学ぶ

IT企業「ヴァンパイヤ株式会社」は、キャラクターデザインやSNS、ゲームの企画・運営などを扱っている企業で、2019年に奈良大学OBによって創業された会社です。ベンチャー企業ならではの斬新な働き方改革(フルリモート勤務や遅刻OKなど)が導入されていて、参加した学生も「新しい働き方」に刺激を受けていました。



ベンチャー企業を見学

### ■ オリジナルグッズの企画・販売

奈良もちいどのセンター街にある奈良のキャラクターグッズを扱うショップ「絵図屋」で販売する新商品を学生たちがデザイン、価格、ターゲットを考えて発表しました。学生のアイデアが実際の商品になったものに、アクリルで作るスマホスタンド、スマホリングなどがあります。さらに、大学の文化祭への出店・販売も体験しました。



文化祭への出店

「絵図屋」



### ■ NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・奈良

リーフレットやニュースレターを学生が自ら企画し、制作しました。スペシャルオリンピックスは、知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングと競技会を提供している国際的スポーツ組織です。学生たちは企画や意見交換を積極的にすることで、企画力、協調性、計画性などを養うことができます。



スペシャルオリンピックスの活動